

2010年(平成22年)10月28日(木曜日)

地域ワイド 6

OCHIS

## S A S、自覚症状なし

疲労・ストレス対策聞く

【大阪】大阪ヘルスケア  
ネットワーク普及推進機構  
(OCHIS、武田裕理事長)

長は21日、大阪市でセミナーを開き、全ト協

の高安茂労働部長らが、ド

ライバーの健康と交通安全  
の関係について講演した。  
テーマは「睡眠時無呼吸  
症候群(SAS)と疲労・  
ストレスの新たな対策」。



基調講演で、武田理事長が  
現在進めている最新の研究  
などを紹介した。  
OCHISの黒田悦子保  
健師も、前年度にトラック

6509人、バス654人の  
ドライバーが受診したS  
AS検査結果を基に、肥満  
で40歳以上の人の半数が要  
精密検査となっていること  
を報告。「自覚症状はほと  
んどないが、治療の判定が  
出た場合、きちんと通院す  
ることが必要」と、会社か  
らの指導を求めた。

全ト協の高安氏、梅田運  
輸倉庫(荒岡久雄社長、大  
阪市福島区)の岩崎小夜子  
常務、労働科学研究所(塩  
谷隆美理事長)の酒井一博  
常務らが、ドライバーの疲  
労を防ぐ運行管理の進め方  
などについて発表。武田氏  
をコーディネーターにパネ  
ルディスカッションも行わ  
れた。

(佐藤  
新二)